

豪雨災害から1年余 被災者に心寄せた支援を 大平さんら 切実な要求を国に届ける



8月29日、大平喜信前衆議院議員を先頭に、岡山・広島・山口の三県の代表が上京し、政府レクを行いました。

大平さんらは、昨年7月の豪雨災害から1年経過した中で被災地が抱える問題、とりわけ被災者の医療費・介護保険利用料の減免制度の延長を国に求めました。(写真)

レクには、福山市の二人の市議が「福山バイパスと区画整理を考える会」の皆さんとともに、

「福山バイパス問題」について、山口県議団が上関原発・イージス・アショア問題・宇宙監視レーダー・下関市立大学などの問題についてもレクチャーを受けました。

悔しさをバネに 仁比さん 山陽3県を駆ける

新成羽川ダム放流問題で、仁比さん 総社市長と懇談

仁比聡平参議院議員は、8月26日～28日の3日間、山口⇒広島⇒岡山の山陽3県を「選挙結果の報告」に訪れました。

仁比さんは各地の党機関や団体に挨拶をするとともに、イージス問題の萩市、米軍基地の岩国、豪雨災害の広島市安佐北区と岡山県総社市など「たたかひの現場」に出向き、今後の奮闘を誓い合いました。(写真は、安佐北区の被災地で)

仁比さんは28日の夕方、総社市の片岡聡一市長を訪問し、災害の原因となった新成羽川ダムの異常放流問題で意見交換。中国電力の事前放流に道を開いた成果をお互いに確認しました。



「議会と自治体」「前衛」の豪雨災害1年の特集に寄稿

大平さん 須増県議 清水てい子さんら

昨年の豪雨災害から1年を迎えたなか、「議会と自治体」9月号が特集を組みました。中国ブロックからは大平喜信前衆議院議員、須増伸子岡山県議、清水てい子広島市安佐北区委員長が寄稿しています。ぜひお読みください。なお、大平さんは「前衛」10月号にも寄稿しています。